

みなさん、こんにちは。私たちは、神奈川2区市民連絡会です。横浜市西区、南区、港南区を領域とする衆議院選挙神奈川2区の地域で活動を行っています。私は、連絡会結成にあたって呼び掛け人となった一人、横浜で弁護士をしております。いまの安倍政権の暴走を止めよう、戦前に逆戻りする改憲、特に9条の改憲を押しとどめようという気持で、お話させていただきます。

安倍政権は、憲法の理念に反する数々の行いを繰り返し、しかも、これを改めようとしません。日米の軍事協力を強化、地球のはるか裏側まで自衛隊を送り出し自衛官の命を危険にさらす安保法制を成立させました。秘密保護法と共謀罪の制定で、国民の目・耳・口をふさぎました。いま、日本で、世界で、何が起きているのか、本当の事実から国民の目をそらすことに成功してしまいました。

さらに、アメリカから高額な兵器を購入し、国民から集めた税金を無駄遣いし、私たちの福祉を次々と削っています。海の向こうの国が日本に向けてミサイルを撃つと怖いといって、実験で失敗を繰り返している迎撃ミサイルを購入しようとしています。先制攻撃を行った国は国際法で違法とされ、国連の厳しい制裁の対象となるというのに、政府は危機を煽っています。安保法制のおかげで日本が守られていると宣伝しています。

そして、極めつけが、改憲です。国家の骨格となる日本国憲法を変えようとしているのです。二度と悲惨な戦争を起こさない、戦争に関わってはいけない、軍備を放棄しようと思決意した70年前の日本の決意を、いまここで変えようとしているのです。

憲法に自衛隊を書き込む、これは単純な話ではありません。憲法に自衛隊が軍事組織として書き込まれてしまったら、やがて自衛隊が国際規格の軍隊となり、膨大な予算をつぎ込み、次々と軍備を拡大、こうした軍事国家への道に歯止めがかけられなくなってしまいます。憲法9条は、自衛隊が国際規格の軍隊、フルスペックの軍隊となることを、70年もの間、静かに阻止してきたのです。つまり、自衛隊が殺し殺される組織となることを、憲法9条は防いできたのです。

国民の命を守る活動をする組織には、警察だって消防だって海上保安庁だってあります。みんな、国民の命を守る活動をしています。しかし、自衛隊だけを憲法に掲げたとなん、それは特別扱いとなってしまう、他の組織に優越する地位を獲得してしまいます。これでは、明治憲法で行われたのと同じ、軍事に対しては誰も口出しができない状態が産み出されてしまいます。軍事組織の拡大と暴走に歯止めがかからなくなるのです。

みなさんは、災害救助にあたる自衛隊、国際貢献にあたる自衛隊、素晴らしい活動だと思っいらっしゃいますよね？私も、自衛隊の隊員さんを尊敬し、災害から私たちを守ってくれることに、とても感謝をしています。しかし、自衛隊には二つの顔があるのです。私たちが感謝している災害救助部隊、国際貢献部隊としての自衛隊。もう一つの顔は、世

界有数の能力と装備と人員を備えた「軍隊」としての自衛隊です。

自衛隊を軍隊にしたい人たちは、いいます。憲法9条は戦力をもってはいけないと宣言している。だけど、とつても役に立っている自衛隊が、いつまでも憲法で軍隊にできないのは可哀想。憲法違反と言われ続けるのは可哀想。だから憲法を変えて、自衛隊を書き込んであげよう。自衛隊に感謝しよう。

この言葉には、もの凄い嘘が含まれています。災害救助部隊、国際国権部隊としての自衛隊を誉め称えるなら、彼らに銃を持たせる必要はないのです。武器を持たせる必要はないのです。武器をもたない部隊であれば、戦力とはいえ、憲法には違反しないのです。

いよいよ、安倍政権は改憲に手をつけました。本当に、憲法を変えてよいのでしょうか。自衛隊を憲法に書き込むことの意味、その危険性を、みなさんはわかっているのでしょうか。一旦憲法をかえたとたん、その憲法は未来の日本の姿を変えて行きます。もっとも影響を受けるのは、人生の半分を過ぎた私たちおじさんよりも、これからの若い人たちです。私たちの子どもや孫の世代、そしてその子孫たち。こどもたちの知らないところで、戦争と隣り合わせの国作りが進んで行くのです。

私たち一人一人だけの力だけでは、もう、止められません。でも、あきらめてはいけません。政党や組織の枠組みを超えて、一人一人の市民の声をたくさん、たくさん集めて、安倍9条改憲に立ち向かって行きましょう。改憲に反対する声を集め、改憲反対の署名を集め、その数を安倍政権にみせつけ、改憲を思いとどまらせましょう。みなさん、一緒に頑張りましょう。

「安倍9条改憲 NO! 憲法を生かす 3000 万人署名」に、ご協力をお願いいたします。ありがとうございました。